

鯖江市議会・市民創世会

# 大門よしかずレポート



鯖江市新横江1丁目7-22 TEL/FAX(0778)52-7488 携帯090-6810-2462

## ごあいさつ

陽春の候となり、野山が緑に溢れ、色とりどりの花が咲きそろそろ季節となっています。桜の開花は観測史上もっとも早くなりました。つつじの開花も早まると思われ、このレポートがお手元に届く頃にはすでに満開を過ぎている事でしょう。



観測史上最も早く桜の満開を迎えた西山公園

新型コロナウイルスの感染拡大が始まってすでに一年以上が経過しています。その間3度の波を経験し、今また第4波に入ったと言われています。まさに、社会経済や人々の暮らしを根底から揺さぶるような大変な事態であります。

今のところ、鯖江市においては感染者数が急増するような状況ではありませんが、市民の生活はより苦しさが増しているのではないのでしょうか。

長い自粛生活の中で、人々の意識の変化は知らず知らずのうちに進み、物理的にも精神的にも人との接触が希薄になり、距離を取るようになりました。また、会合、サロン、文化、教室などの活動も一気に低調になり、個に閉じこもりがちになりました。若さや活力を維持するために積極的に外に出ましょ、友人とおしゃべりをしましょ、などと行政も一体となって進めてきた健康寿命推進活動も後戻りを余儀なくされています。

このような状況を改善する切り札は、多くの国民がワクチンの接種を終え集団免疫を獲得することです。鯖江でもようやくワクチン接種が始まりました。5月からは一般高齢者

にも接種が始まります。順調に進むことを願い、一日でも早く元通りの社会活動、経済活動に戻ることを願うばかりです。

## 3月議会一般質問より

(鯖江市のHPで本会議録画の配信を行っています)

### 当初予算方針について

#### (Q) 当初予算の概要について

コロナ禍という厳しい社会情勢のなか、税収の落ち込みは不可避の状況に有ります。令和3年度の予算は例年を踏襲するという訳にはいきません。どのような方針で臨まれたのか。

(A) 歳入については個人・法人市民税や固定資産税の大幅な落ち込みや、市営駐車場、公共施設の使用料の減収など、自主財源は昨年度に比べ約17億円減少しています。

市税の減少に伴い、地方交付税と臨時財政対策債(\*1)の増加を見込み、財政調整基金(\*2)を3億円取り崩して財源を確保しました。

一方、歳出については、経常経費の抑制に加え、政策的経費をゼロベースで見直しました。

結果として、財政調整基金は22億5千万円確保し、コロナ禍の経済対策や不測の自然災害にも対応できるものと考えています。(質問予定内容が山本議員とほぼ同じため、質問を省略しました。同議員への答弁を参照しました)

(\*1)臨時財政対策債 国からの地方交付税が不足する場合、不足分の一部を地方自治体が借入れする地方債。後年度に国から地方交付税として全額措置されます。

(\*2)財政調整基金 地方自治体が年度間の財源の変動に備えて積み立てる基金。地方自治体の貯金。

#### (Q) 限られた予算の中で、どのように効率的配分を行ったのか

各事業に、例年通りに予算をつけるということができない中「守るべきものは守る」とは市民の命であり、産業であり、安心できる暮らしではないかと思います。

それが予算にどのように反映されているのでしょうか。

**(A)** 経常経費のさらなる抑制に努め約1億2千百万円。補助金をはじめとした政策的経費についても感染症対策などを除き約8千6百万円ほど削減しました。

また、新型コロナへの対応として、ワクチン接種事業をはじめ4事業に約2億8千万円。産業支援として鯖江ものづくり補助金事業や、DX(\*1)推進に向けた事業など9事業に約1億2千7百万円。生活支援として幼稚園、保育園および小中学校の給食費の半額相当の補助事業や、生活困窮者への支援など7事業に実質事業規模約2億7千万円。イベント対策にオンラインやリモート等を導入した事業など7事業に約1千万円。GIGAスクール(\*2)推進事業をはじめとしたDXの推進のためのICT(\*3)環境整備対策に11事業約1億2千万円を計上しました。

今後も、コロナ禍を乗り越えるために、必要に応じ時期を逸することのない施策を躊躇なく実施していきます。

**(\*1)DX** デジタルトランスフォーメーションの略。IT(情報技術)を有効かつ継続的に活用することで、企業の業務のあり方から組織・文化・風土までを変革し、それによって企業が新たな価値を創出し、社会や人々の生活を向上させるという考え方、またはそうした取り組みのこと。

**(\*2)GIGAスクール** 小・中学校の児童・生徒1人あたり1台のパソコンを配布し、全国の学校に高速大容量の通信ネットワークを整備する計画。これにより、デジタル教科書や動画など様々なツールを活用できるようにして教育方法改革を進める狙い。

**(\*3)ICT** 情報・通信に関する技術の総称。従来から使われている「IT」に代わる言葉として使われている。



### **(Q) 市民の暮らしを守るための支援策とは**

鯖江市は家内労働や中小零細規模の地場産業に多くの方が従事しています。その方たちは、このコロナ禍の中、明日の仕事にも暮らしにも不安を抱えているのではないのでしょうか。新市長による次年度は鯖江市がどのような支援の手を差し伸べてくれるのか、期待と不安を持ちながら注視している市民は少なくないはずです。そこでまず、生活支援はどのように。



新型コロナワクチンの接種が始まります

**(A)** 令和2年度は学校等の給食費の無償化を実施させていただきました。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、市は学校および保育所、幼稚園等も含め給食費の半額相当を免除あるいは補助させていただき、御家庭における経済的な負担軽減を図ります。



### **(Q) 産業を守るための支援策とは**

越前漆器購入支援策や鯖江産眼鏡のキャッシュバックキャンペーンなど、一定の効果を上げているようです。しかし、その恩恵が職人の隅々にまで行き渡っているかとなると、かなり厳しい状況にあるのではないのでしょうか。ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた産業支援策とは。また、さば割クーポンの概要について。

**(A)** 事業者向けに従来、販路開拓、人材育成、経営改善等の補助金を経営力向上補助金として一元化しました。コロナ禍の現状を踏まえ、補助率を従来の2分の1から4分の3に引き上げ、事業所の負担を減らしました。

また、自社の経営改善を目的に、全国各地の高いスキルを持つ人材を副業社員として起用する際の補助金の創設と、男性向けの育児休暇取得促進を目的とした事業所向けの補助金を予定しています。

また、産直ショップ開設補助金の対象に漆器、繊維を加え、さらなる産業観光の推進と、マーケットインのものづくりが可能となる体制強化にも取り組んでいきます。



東京のアンテナショップ「ふくい南青山291」

次に、電子クーポンさば割の概要です。福井県の電子クーポン「ふく割」のアプリシステムを活用し、市内店舗での利用限度で1会計2千円以上の購入で5百円の割引が可能となる「さば割クーポン」を8千枚、総額4百万円分を発行する予定です。

市内小規模店での利用促進と、ついで買い、買い増しを促すことで市内全域の消費喚起につなげていきます。

**意見** 新型コロナ感染者が出始めた1年前は、未知のウイルスに戦々恐々としていましたが、今はコロナ慣れ、支援疲れの状況にあるのではないかなと思います。基金を取り崩してでも、数々の支援策を打ち出した1年前に比べ、支援策のメニューや予算が減ったことは仕方ないにしても、国などの支援策もほぼ終了した今、市民の生活は1年前よりも厳しい状況にあるかもしれません。市民の声をよく聞き、状況に応じた適切な支援策を考えていただきたいと思います。



## 各イベントについて

### ◎成人式について

**(Q) 大雪の中、予定通り開催したが結果と市民の声は**  
大雪の影響を受けた幾つかの自治体が、成人式を中止もしくは延期した中、鯖江市は予定どおり開催しました。大雪の影響は本人のみならず、関係者の多くが影響を受けます。この災害により、参加できなかった新成人がかなり多かったのではないのでしょうか。結果と、市民からどのような声が寄せられたのでしょうか。

**(A) 教育長** 今年の成人式は1月10日総合体育館で開催しました。対象者750名に対し、参加者が502名という結果でした。県内9市の中で、大雪の影響により延期した自治体が3市ありました。本市では降雪状況、総合体育館前の広場、会場周辺の道路除雪等、万全に整えて開催しました。



2月16日に開催した実行委員会において、除雪や送迎をしてくれた家族に感謝する声や、美容室や着付のキャンセルなどを考慮すると、予定どおり開催されて良かったとの声もあります。一方、家から出られず、止むを得ず参加を見送られた新成人もおられたと聞いています。主催者の1人として大変申し訳なく、お詫びを申し上げます。

このような困難な状況の中、賛否両論ありますが、多くの皆様の御協力を得て開催でき、新成人もご家族や関係者の人に感謝の気持ちを強く抱いていただき、大変意義があったのではないかと感じています。

**(Q) 開催時期を見直しても良いのではないかと**

成人式は毎年行われますが、新成人にとっては、一生に一度の晴れ姿を御家族やお友達とともに喜び合える日ではないのでしょうか。それが、今年のような大雪に左右されるのでは、あまりにも可哀そうとしか言えません。今の成人式は成人の前日に行われますが、都会で暮らす若者が多くなった今、年始休暇から間がないこの時期は二度里帰りするか、お正月からそのまま居るかのどちらかです。かなりの負担を余儀無くされているのではないのでしょうか。

大雪の影響を受けやすい雪国での成人式のありようが検討されてもよいのではないかと。例えば、時期を変更するとか、予備日を設けておくなどの方法もあるのではないのでしょうか。

**(A) 教育長** 鯖江市においては、成人の日を含む3連休の日曜日に開催をしています。豪雪の際に一度3月に開催したことがあります。

令和4年4月以降、成年年齢が今の20歳から18歳に引き下げられますが、成人の日を含む1月の3連休に成人式を開催する予定の自治体が8割程度あるという状況です。全国ではゴールデンウィークとか夏のお盆に開催する自治体もあります。

成人式の参加者の対象年齢と成人の日が定められた意義も含めて開催時期なども研究課題としていきます。

**意見** 成人式を心待ちにしていながら参加を諦めざるを得なかった若者や御家族には同情を禁じえません。このような悲しい思いをする人が1人でも少なくなる方策を考えていただきたいと願います。



### ◎鯖江つつじマラソンについて

**(Q) 開催のための対応策は**

例年3千人規模の大会となっています。今年度は種目の見直しに言及しています。今の時点で、どの程度の大会規模とするのか、その対応策は。



人気の「鯖江つつじマラソン」。今年はどのように

**(A)** 現在の新型コロナウイルスの感染拡大の状況、今後の推移の状況など不透明であるため、例年5月開催のところ

を10月31日、日曜日に延期することを決定しました。例年、全国各地から参加者の集う盛大な大会となっていますが、県外からの人の移動を抑えるため、現段階では参加者を県内に限定とします。また、ハーフの部を中止し、例年、参加者が3千4百人程の規模を約7割程度に抑え、感染リスクの軽減に努めていきたいと考えています。



### (Q) 感染予防対策の強化をどのように

感染症予防対策の強化ということを謳ってます。今の時点でどのような対策を講じる予定か。

(A) 日本陸上競技連盟が作成したロードレース再開についてのガイダンスを参考にします。

まず1点目は、3密を避けます。例えば、開会式の簡素化、表彰式の中止、あるいはゼッケンなどの事前配布。完走証のウェブ発行などです。

2点目として、ソーシャルディスタンスを確保します。例えば、陸上競技場外の発着や、ウェーブスタート、ネットタイム方式など競技者が体につけたチップにより、スタート時間、ゴール時間をそれぞれ個別に管理して記録、着順を決める方式を検討します。

3点目として、選手の方々の健康管理です。1週間分の体調管理チェックシートの提出や、検温体制の強化を検討しています。

このほか競技中以外のマスクの着用や、手指消毒の徹底。おもてなしとしての豚汁など飲食物の提供の中止など、感染防止対策を徹底していきたいと考えています。

なお、今後の感染状況の変化などにより、大会の中止も含め慎重な判断をしていきます。

## 文化センターがリニューアルオープン

耐震補強工事に伴いリニューアルを進めていた文化センターが4月に再オープンしました。

ホールの南側に大きなコンクリートブロックを設置し、耐震性を向上させました。



耐震工事を終えた鯖江市文化センター



車いす席、ファミリー席が増設されました

## オープンした新子育て支援センター『にじいろ』



旧早稲田保育園(谷川病院近く)を改修し、新子育て支援センター『にじいろ』がオープンしました。

西山公園管理事務所3階にあった、旧子育て支援センターは手狭なこともあり、もっと広い場所が望まれていました。

なお、新センターオープンに伴い人員や機能を集約するため、旧センターは移転し、閉鎖されます。



広くなった遊び場で子供たちののびのび

**あとがき** 毎年恒例の「さばえつつじまつり」は諸情勢を勘案し、今年も開催を見送ることとなりました。昨年は新型コロナウイルスにかなり敏感に対応しましたが、一年以上たった今、必要以上に臆病にならず、ある程度ゆとりを持った対応に変わってきているようです。おかげさまで今年は桜もつつじも花を十分に楽しむことができます。コンサートなども徐々に再開しています。やはり、心の潤いは必要です。人と人とのコミュニケーションも回復させたいものです。